

青森県立郷土館 デジタルミュージアム



郷土館では、平成26・27年度の二ヶ年にわたり、郷土館を広く発信する「豊かな自然・文化遺産を活用するデジタル郷土館事業」を実施しています。

デジタル郷土館事業は、「青森県立郷土館デジタルミュージアム」ホームページを構築し、(1) 収集資料の積極的な公開と評価システムの構築(2) 利用者と郷土館の協働による「バーチャル展示」の構築(3) 学習コンテンツの構築(4) 海外向けコンテンツ(5) 360° VR(バーチャルリアリティ)画像の構築(6) 館内展示物の多面的な情報提供(7) バーチャル展示企画案コンテストを実施します。

このうち、平成26年度は(1)・(2)を中心にWEBサイトを構築しました。(1)では郷土館の約10万点に及ぶ所蔵資料を準備ができたものから順次公開します。また、借用した常設展示資料のなかで、所蔵者の了解をいただいたものについても公開を進めます。(2)ではさらに踏み込んだ活用を図ります。バーチャル展示とはコンピューター上の3D空間に郷土館資料の写真を展示するもので、展示室内を歩くように視点を移動させる事ができます。IDとパスワードを付与された利用者が展示を構築できます。平成27年度は展示希望者を公募し、(7) バーチャル展示企画案コンテストを実施します。コンテスト入選作品は一定期間公開し、また、実物を用いた展示も行います。

「青森県立郷土館デジタルミュージアム」の本格的な公開は5月下旬から6月上旬、バーチャル展示の展示者公募は7月頃、入選作公開は12月中旬となる見込みです。是非、デジタル郷土館をご利用ください。

県民と郷土を結ぶ総合博物館
青森県立郷土館 平成27年度展覧会・事業予定

企画展
 3月14日(土)～4月20日(月) **こちらの企画展は終了しました。**
 一斎藤笑和子コレクション「奇蹟記念」

企画展 **写真展 思い出のふるさと**
 ～昭和戦後のまち・むら・交通～

TTHAグループ主催
 西へ、東へ。自由気まま。ネコとの出会いの旅
岩合光昭写真展「ねこ歩き」

TTHAグループ主催
 藤森武写真展 東日本大震災復興祈念
「みちのくの仏像～東北のカミとなった仏たち」
 東北5社巡回展

TTHAグループ主催
第83回東奥児童美術展

特別展
環状列石と周堤墓

企画展
大・中・小～くらしの中のスケールあれこれ～

TTHAグループ主催
第5回東奥児童書道展

企画展
新収蔵展・バーチャル展示コンテスト展



◇休館日◇
 ○4/21・24、6/16、7/1～7、10
 8/24・28、9/28、10/1・13・20
 12/8・18、2/5・10・22、3/2
 ○年末年始(12/29～1/3)

◇開館時間◇
 ○4/1～4/23・11/1～3/31
 9:00～17:00
 ○4/25～10/31
 9:00～18:00

◇交通機関◇
 ○JR青森駅より徒歩約20分
 ○市営バス JR青森駅から
 ■国道経由
 NTT青森支店前(または市役所前)
 下車、徒歩約8分
 ■新町経由
 新町2丁目下車、徒歩約8分
 ○市民バス JR青森駅から
 ■青柳線
 ワシントンホテル前下車、徒歩約1分



◇問い合わせ◇
 青森県立郷土館
 〒030-0802
 青森市本町2丁目8-14
 TEL 017-777-1585
 FAX 017-777-1588
 青森県立郷土館指定管理者
TTHAグループ
 株式会社東奥日報社
 株式会社東奥日報サービス
 株式会社日立ビルシステム
 青森設備工業株式会社

- ◇その他事業◇
- 土曜セミナー(5月～)
 - ミュージアム探検隊(土・日・祝日・春休み期間)
 - 郷土館クイズラリー(夏休み・冬休み期間)
 - 自然観察会(5月・10月)
 - 夏休みこどものくに(7/26・8/2)
 - 授業に役立つ博物館研修(1/12)
 - 博物館実習(8/24～28)
 - あおもり街かど探偵団(秋に開催)
 - 冬休みめぐり回し大会(1/10)
 - 出前授業・移動博物館・講師派遣事業(随時)

◇常設展観覧料◇

| 区分 | 3～10月 | 1・2月 |
|--------|------------|------------|
| 一般 | 310円(250円) | 250円(200円) |
| 高校・大学生 | 150円(120円) | 120円(100円) |
| 中学生以下 | 無 | 料 |

○()内は20名以上の団体料金。
 ○障がいのある方は免除。
 ○展示会の料金は、直接お問合せ下さい。



企画展開催中!!

「写真展 思い出のふるさと」

当館では4月25日(土)より、『写真展 思い出のふるさと』を開催しております。

今回の展示の中心となるものは、昭和30年代に本県で撮影された写真です。この時代の日本は高度経済成長が進み、社会の隅々まで大きな変化がみられる時期ではありました。しかし、当時の本県には、昔ながらの知恵と工夫で長年築き上げられて来た伝統的な生業や生活様式が色濃く残っていました。その頃は、薪・木炭・石炭が、家庭や学校の暖房などに現在より多く使われていました。道路では馬そりや馬車が活躍し、鉄道では蒸気機関車がいまだ現役であり、さらに、青函連絡船も蒸気船が使われており、いずれも多くの乗客や貨物を運んでいました。そのような当時の光景は、多くが変化を遂げた後、現在に至ります。

本展では、昭和30年前後から昭和の終わりまでの光景を収めた写真、および、それらと比較できる最近の写真を合計約190点紹介いたします。さらに、古くから農業に使用された道具、当時の子供の遊び道具、出店の屋台など、それらの写真に登場するものを中心とした実物資料も加えて展示します。それらの資料は、①まち、②むら、③交通、④まつり、⑤こども、⑥娯楽ほか、の6つのコーナーに分けて紹介しています。

今回の写真展を通じてそれらの写真の撮影当時から現在までの変化を感じ、その背景となる社会全体の変化に思いを巡らせて頂ければ幸いです。

(主任学芸主査 佐藤 良宣)



馬櫃(ばそり)に乗る人々 昭和32年



特急はつかり 昭和36年



テーマ「生業」



新展示資料「県重宝 人物線刻のある石冠」
(青森県埋蔵文化財調査センター蔵)

考古展示室リニューアル

2階考古展示室では、「縄文時代の生活」コーナーを23年振りに改装しました。「生業」「ムラ」「埋葬」「交易」のテーマを設定し、随所に青森県のこの20年の調査・研究成果を反映しながら、103点の資料を新たに公開しました。

「生業」のコーナーでは、従来の展示資料に加えて、木器や種子など植物・森林利用に関する資料を新たに展示しています。縄文時代には一部でクリの栽培が行われていたことやアズキが利用されていたことなどの最近の研究成果を出土品で解説しています。

「ムラ」のコーナーでは、周囲の環境の変化に対応しながら移り変わっていった縄文のムラの様子を解説しています。「埋葬」「交易」のコーナーでは、タブレット端末を導入し、これまでよりビジュアルな解説になりました。

1万5千年続いた縄文時代、人々がどのように環境と関わりながら暮らしていたのかをより一層縄文人に近づいて知ることができると思います。

今回の改装では、壁面を全面的に変更し、容易にパネルや展示物を追加したり、レイアウトを変更できるようにしました。今後はこれを利用して当館の未公開資料をはじめ、最新情報を随時提供していきたいと考えています。

(主任学芸主査 杉野森 淳子)

かわいいネコたちが大集合！

TTHAグループ主催「岩合光昭写真展 ねこ歩き」

7月11日(土)より「岩合光昭写真展 ねこ歩き」が開催されます。
本展は、動物をこよなく愛する岩合氏が最近訪れた「国々のネコ」や「ふるさとのネコ」の他、同氏にとって最も身近な存在である「岩合家のネコ」の3部構成になっています。様々な表情を見せるネコたちの姿を、岩合氏の写真を通して楽しむとともに、動物愛護のあり方を考える場の提供と愛護活動支援の一助(物販収益の一部を寄付)となる企画展とします。

また、愛猫家から写真を募集し館内に展示する「みんなで作る～我が家のねこ写真展示コーナー(仮称)」の開催を予定しています。出品者の中から抽選で222人(ニャーニャーニャー)に招待券を贈呈します。ぜひご参加ください。



図録販売中！

企画展「彫刻家・鈴木正治の世界」

青森市を拠点に旺盛な制作活動を続け、本県の芸術振興に貢献した、彫刻家・鈴木正治の作品を紹介した「彫刻家・鈴木正治の世界 齋藤葵和子コレクション寄贈記念」が当館大ホールで3月14日(土)～4月20日(月)まで開催されました。

強烈なインパクトのある鈴木作品に多くのお客様が足を止めて見入っている様子でした。

また、3月21日には当館小ホールにて記念講演会(リレートーク)が行われ、会場を埋め尽くすほどの多くのお客様で賑わいを見せていました。

※鈴木正治の図録は、当館受付の窓口にて現在も販売しております。(一般の書店では販売していません。)



木など「時計」



木彫「誕生」

土曜セミナー(予定)

5月23日 ディープな日本史の話

講師 青森県立郷土館学芸員
伊丸岡 雅彦

5月30日 企画展連続講座Ⅰ

(昭和30・40年代の交通)

講師 青森県立郷土館学芸員
佐藤 良宣

6月6日 企画展連続講座Ⅱ(人々の暮らし)

講師 当館ゲストキュレーター
成田 敏

6月13日 企画展連続講座Ⅲ

(佐々木直亮が“衛生の旅”で写した青森県)

講師 当館ゲストキュレーター
中園 裕



エレベーターの利用停止のお知らせ

当館のエレベーター(業務用)は、車椅子利用の方等にご利用いただいていたましたが、設置後40年以上経過、老朽化が著しいため、専門家による調査、点検をする必要性を指摘されました。

また建築基準法の改正により、災害対策を講じなければならないことから、当分の間、来館者の皆さまをお乗せする事ができなくなりました。

来館者の皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今後の対応につきましては、関係機関と協議、検討し、ご不便を解消するよう最善の努力をしているところでございます。重ねてご理解を賜りますようお願い申し上げます。

青森県立郷土館
指定管理者TTHAグループ

東奥日報社
東奥日報サービス
日立ビルシステム
青森設備工業

